

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 I 英語学・英語教育学		
授業担当教員/Faculty	佐藤 雄大		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と考え方、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法等について理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、第二言語修得、言語技能、評価に関する英語教育研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。</p> <p>AIの使用については授業で説明する。</p>		
授業計画 / Schedule	<p>第 1 回 人文・社会科学研究の動向と考え方 (Introduction to Research methods)</p> <p>第 2 回 英語学・英語教育学研究の動向と考え方 (Introduction to linguistics and applied linguistics)</p> <p>第 3 回 研究における科学と研究倫理の在り方 (Research ethics)</p> <p>第 4 回 研究法 (量的研究) の動向と課題 (Quantitative methods)</p> <p>第 5 回 研究法 (質的研究) の動向と課題 (Qualitative methods)</p> <p>第 6 回 第二言語修得研究の考え方 (Introduction to SLA)</p> <p>第 7 回 第二言語修得研究の研究法と研究事例 (Research methods in SLA)</p> <p>第 8 回 第二言語修得研究の成果と課題 (Research issues in SLA)</p> <p>第 9 回 第二言語教育における言語技能についての考え方 (Second language teaching)</p> <p>第 1 0 回 第二言語教育における言語技能の研究法と研究事例 (Research methods in SLT)</p> <p>第 1 1 回 第二言語教育における言語技能研究の成果と課題 (Research issues in SLT)</p> <p>第 1 2 回 第二言語学修における評価の考え方 (Language assessment)</p> <p>第 1 3 回 第二言語学修における評価研究の方法と研究事例 (Research methods in LA)</p> <p>第 1 4 回 第二言語学修における評価研究の成果と課題 (Research issues in LA) (オンライン授業)</p> <p>第 1 5 回 研究課題の整理と考察 (Summary)</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義Ⅰ 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	エリス 俊子		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、日本文学研究を遂行するための基本的な知識を修得し、近年の研究動向やさまざまなアプローチの方法について学ぶ。とりわけテキスト分析の手法を身につけることに重点を置く。その上で、受講者が自律的な研究に進むための具体的なガイダンスを提供する。		
授業計画 / Schedule	第1回 オリエンテーション 第2回 文学研究の基礎(1) 文学研究とは 第3回 文学研究の基礎(2) 文学史のとらえ方 第4回 文学研究の基礎(3) 作品論、作家論からテキスト論へ 第5回 文学研究の基礎(4) text and context 第6回 文学研究の基礎(5) 学術的研究としての基本的なアプローチ 第7回 文学研究の方法(1) 批評理論について 第8回 文学研究の方法(2) ニュークリティシズムとその批判 第9回 文学研究の方法(3) ポストコロニアリズム、新歴史主義など 第10回 文学研究の方法(4) テーマ批評、比較文化論など 第11回 文学研究の方法(5) フェミニズム批評、ナラトロジー、言語学からの批評など 第12回 批評の実践(1) 小説 第13回 批評の実践(2) 古典詩歌 第14回 批評の実践(3) 近代詩歌（オンライン） 第15回 まとめ		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	適宜指示する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義Ⅰ 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	近藤 行人		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、日本語学・日本語教育学研究の動向と考え方、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、日本語学・日本語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法等について理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、日本語学・日本語教育研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。		
授業計画 / Schedule	第1回 日本語教育学研究の全体像と授業の目的 第2回 日本語教育研究の意義・科学性・研究倫理 第3回 引用方法と参考文献記述の基礎 第4回 日本語教育学研究の基礎概念と研究領域 第5回 言語学的知見と日本語教育学研究 第6回 認知的・社会文化的理論と日本語教育 第7回 日本語教育学研究における実践と理論の関係 第8回 研究課題の設定と研究デザイン 第9回 実践データの収集方法と研究への位置づけ 第10回 実践データの整理と記述 第11回 質的データ分析の基礎 第12回 量的データ分析の基礎 第13回 混合的アプローチと多面的分析 第14回 研究成果の記述と考察の方法 第15回 日本語教育学研究の課題と展望		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1期
授業区分	週間授業	合併講義等	なし
授業名 / Subject	特殊講義 I グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	大岩 昌子
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程における学修の基礎として、科学的研究と研究者の在り方について深く学ぶ。そのうえで、人文・社会科学研究、音声・音声習得研究の動向を見極め、音声習得研究に必要な研究法の知識・技能、および専門的知識を修得する。研究方法については、量的研究法・質的研究法の両面から理解を深めていく。第二言語修得、音声習得、音声評価に関する研究の現況と成果について学修し、自律的な研究を行うことができるようになる。</p> <p>第14週のみZOOMによるオンライン授業となる。 受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前に連絡する。 なお、本授業での生成AIの使用は、担当者によって決められた範囲内での使用を可とする。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>第1回 ガイダンス、人文・社会科学研究の動向と考え方 第2回 音声習得研究の動向と考え方 第3回 研究における科学と研究倫理の在り方 第4回 研究法(量的研究)の動向と課題 第5回 研究法(質的研究)の動向と課題 第6回 音声習得研究の考え方 第7回 音声習得研究の研究法と研究事例 第8回 音声習得研究の成果と課題 第9回 中国語音声の特性の検討 第10回 日本語音声の特性の検討 第11回 成人の音声習得に関する研究事例 第12回 成人の音声習得に関する分析と評価 第13回 成人の音声研究に関する課題 第14回 発表 第15回 まとめ</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	<p>授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。 なお、本授業での生成AIの使用は、担当者によって決められた範囲内での使用を可とする。</p>
------------------------------	---

教科書(参考書) / Textbook/Reference Materials	<p>授業で配布する。 また、音声分析ソフト(種類は任意)を使用する。</p>
---	---

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 I グローバルコミュニケーション		
授業担当教員/Faculty	鈴木 茂		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>1990年代以降の「多文化共生」について書かれた文献を網羅的にサーベイします。 1990年入管法改正を契機として本格化した、朝鮮半島および中国以外からの日本への外国人移民の流入とともに、外国人住民の管理・統合をめぐる、どのような議論がなされてきたのか、具体的な研究成果に基づいて論点を整理します。 博士論文の前提となる研究史のまとめを作成することを目標とします。 生成AIの利用については、随時指示します。</p>		
授業計画 / Schedule	<p>最初の3回で主要な研究成果のリストを作成し、4回目以降、それぞれの研究史上の時期における代表的な作品を検討します。</p> <p>第1回 報告と討論 第2回 報告と討論 第3回 報告と討論 第4回 報告と討論 第5回 報告と討論 第6回 報告と討論 第7回 報告と討論 第8回 報告と討論 第9回 報告と討論 第10回 報告と討論 第11回 報告と討論 第12回 報告と討論 第13回 報告と討論 第14回 まとめ1（オンライン） 第15回 まとめ2</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の授業での報告と討論をもとに評価します。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	日本移民学会編『移民研究と多文化共生』御茶の水書房、2011年。		